

広島県 子供議会だより

勉強会

提案を作成するための勉強会を2回行いました。最初は緊張しましたが、希望する分野ごとのグループに分かれ、現在の状況や10年後の広島県について議論するうちにすっかりうちとけて、色々な意見が出てきました。本番の発表に向けて、現状や課題を分析したり、解決策について活発に議論して提案をまとめました。



日時 6月21日(土)・7月5日(土)
場所 広島YMCA国際文化センター・県議会委員会室

任命式

子供議員の代表者が、中本議長から任命書を、山下副議長から子供議員バッジを交付されました。



議員交流会

ふだんあまり関わることのない県議会議員に、提案発表をうまく行うコツなど、色々な質問をしました。



日時 8月23日(土)
場所 県議会議場・県議会委員会室

子供議会終了後の記念写真



令和6年度の子供議員の提案が実現しました!

※株式会社 セブン-イレブン・ジャパンと連携した取組



子供議員 「広島県産の特産品を使った広島ならではの菓子を開発してみてもいいかな。」
→ 『ええじゃろ! 広島フェア』にて、瀬戸内レモンのバターケーキを販売



子供議員 「県内の色々な場所を巡る広域周辺観光ツアーを企画してみてもいいかな。」
→ セブン-イレブンの店舗に子供議員が作成した観光応援作品を掲示
→ 観光アプリ『KINSAI』を活用した周遊スタンプラリーを実施



制作・発行 広島県 広島県議会

子供議会の模様は、
YouTubeで配信しています。



広島県議会事務局議事課
TEL 082-513-4731
E-mail gikaigiji@pref.hiroshima.lg.jp



お問い合わせ

〒730-8511
広島市中区基町10番52号
広島県環境県民局県民活動課
TEL 082-513-2740
E-mail kankatsudo@pref.hiroshima.lg.jp

「10年後の広島県がこうだったらいいのになあ」
をテーマに

自分の意見や考えをみんなと共有!

みんなで話し合い提案を作成!

議場で知事等に提案を発表!

これからの未来をつくる子供たちが、社会に関心を持ち、よりよい社会を作るために何ができるかを考えるきっかけとして、県と県議会が主催して子供議会を開催しました。

子供議員の声

(アンケート結果より)



とても楽しい3日間だった!来年も参加したい!

知事に自分の提案を発表でき、貴重な経験になった!



議員さんがとてもフランクで、話が面白かった!

他の学校の人達と友達になれたことが嬉しかった!



日時: 令和7年8月23日(土)
場所: 県議会議場
対象: 小学5年生~中学3年生
参加者数: 46名

参加者の満足度
(アンケート結果より)

子供議員 93%

保護者 97%



平和・観光グループ

三次市立十日市小学校	西森 心奏 議員
福山暁の星女子中学校	石岡 梓 議員
福山市立常石ともに学園	河野 咲美 議員
広島市立安佐南中学校	大下 采花 議員
広島市立江波中学校	福田 眞子 議員
呉市立白岳中学校	西本 健心 議員
海田町立海田西中学校	多田 陽葵 議員
福山市立常石ともに学園	表 菜乃夏 議員

平和の大切さを発信する広島県

提案 私たちが被爆者(ひばくしゃ)の被爆体験を伝えるため、学校単位で日本語と英語を交えた人形劇(げき)や自作の歌を作成し、SNSを利用し平和に向けた取組を行ってはどうか。

原爆の恐(おそ)ろしさを視覚(しかく)、聴覚(ちやうかく)、嗅覚(きゆうかく)などの五感で疑似(ぎじ)体験できるようにしてはどうか。

答弁 8月6日に高校生が小・中学生とともに英語と日本語で紙しばいを上演し、その様子を学校のHPに公開するなどの取組が行われている。ぜひ、みなさんの学校でも平和な世界を実現するために何ができるかを考えてほしい。

大阪・関西万博では、原爆投下前後の広島の様子をVRゴーグルで疑似体験できる取組を行った。また、広島平和記念資料館では、プロジェクション・マッピングにより、原爆の恐ろしさを映像(えいぞう)や音で再現する取組も行っている。

地域(ちいき)の特色を伝えられる広島県

提案 各地域の特色ある体験ができる周遊ツアーを企画(きかく)してはどうか。スタンプラリーなどを実施(じっし)し、ガチャガチャをすと広島ならではの景品がもらえるといったゲーム要素をツアーに取り入れてはどうか。

地域ごとに子供ガイドを配置して、子供ならではの視点で地域の魅力(みりょく)を伝え、案内する仕組みを取り入れてはどうか。

答弁 体験型の周遊ツアーの企画や、広島ならではの商品が当たるスタンプラリーなどを実施してきた。今後も、各地の魅力をつないだ周遊ルートをHPなどで発信するとともに、楽しみながら周遊できる取組も検討(けんとう)する。

県内のガイド団体では、子供が案内用の地図を作り、実際にガイドする活動も行われている。また、県観光連盟(れんめい)では、地域の魅力を発信していただく方を「HITひろしま観光大使」として登録している。ぜひ、みなさんも観光大使となり、地域の魅力を多くの方々に伝えてほしい。



地域の魅力発信グループ

広島市立段原小学校	中光 葵 議員
福山暁の星女子中学校	永戸 わか 議員
広島市立袋町小学校	今岡 瑠薫 議員
三次市立十日市小学校	村上 仁潮 議員
広島県立広島叡智学園中学校	阿部 拓杜 議員
	松浦 香遥 議員
広島市立大塚小学校	高原 和奏 議員
広島大学附属福山中学校	阿部 奏穂 議員
広島市立尾長小学校	

若者の流出を防ぐための広島県の魅力発信

提案 広島の特徴や良いところを集めた「広島推しフェス」を開催してはどうか。

答弁 広島県には、ものづくりの技術・技能を生かした多様な産業、24の大学・短期大学がある教育環境(かんきやう)、都市と自然の両方の魅力が短時間の移動で楽しむことができる環境など、たくさん魅力がある。こうした広島県の良さを県内、県外の若者に知ってもらうため、セミナーやHP等による広島県での魅力的なライフスタイルの紹介(しょうかい)、SNS等による企業情報の発信などを行っているほか、「広島県ならやりたいことに挑戦(ちやうせん)できる」といったポジティブなイメージを持ってもらえるような取組を新たに進める。

地域の魅力や伝統をいろいろな人に伝える広島県

提案 郷土(きやうど)料理の魅力について、農業・漁業体験と組み合わせるアピールしてはどうか。

伝統的工芸品についても、実際に作ってみるイベントを行ったり、体験できる施設を作り、いろいろな人に来てもらい、良さを実感してもらってはどうか。

答弁 若者や旅行者等を対象に、三原市では、広島産レモンの収穫(しゆくかく)とレモンを使ったスイーツ作り体験を実施するなど、食材の確保から調理までを体験できるプログラムが実施されている。こうしたプログラムをHP等により発信し、多くの若者に広島県の食の魅力を実感してもらえるよう取り組む。

県HP、展示(てんじ)による紹介やひろしまブランドショップTAUでの仏壇(ぶつだん)の金箔貼り(きんぱくばり)体験などを通じ、伝統的工芸品の価値(かち)を知ってもらえるよう取り組んでいる。SNSでの情報発信を強化するなど、地域の魅力や文化を伝える貴重な財産が将来にわたり引きつがれるよう取り組む。



交通グループ

広島市立大塚中学校	朴 航治 議員
廿日市市立宮島中学校	山下 日奈帆 議員
東広島市立東西条小学校	趙 宥銓 議員
広島大学附属中学校	庄子 茅代子 議員
広島市立天満小学校	大内 橙子 議員
北広島町立八重小学校	久野 香瑠 議員
広島大学附属東雲中学校	長西 志明 議員

違反駐車対策(いはんちゆうしゃたいさく)による渋滞(じゆうたい)の解消

提案 認(みと)められている箇所(かしよ)以外に駐車し、通行の邪魔(じゃま)になっている車両についての取りしめを強化したり、駐停車禁止の道路標識が運転者によく分かるような工夫をしてはどうか。

答弁 パトロールや通報などで駐車違反を認めた際は、取りしめを行っており、運転者がおらず他の車両が通れないなどの場合は、レッカー移動を行うこともある。駐停車禁止の道路標識は、ドライバーから見やすいよう道路の左端(ひだりはし)に設置しているほか、反射(はんしゃ)性のシートにより夜間でも明るく見せる工夫をしている。今後も取りしめの強化と道路標識の整備を推進(すいしん)する。

高速道路等での逆走による事故防止対策

提案 県内の高速道路などの自動車専用(せんよう)道路で逆走が起きやすい箇所などの広報をしてはどうか。

高齢者(こうれいしゃ)講習などの機会に、例えば、VRドライブシミュレーターなどを活用した逆走運転を防止する講習などをしてはどうか。

答弁 交通安全教室や広報啓発(けいはつ)を行っているほか、インターチェンジ付近での交通監視(かんし)の実施、逆走が起こりやすい場所では路面に進行方向を示した標示などの対策をしている。

高齢者講習では、プロジェクタ等を使用し、高齢ドライバーの事故の傾向(けいこう)などについて講習をしている。VRドライブシミュレーターの活用は、視聴覚教材の一つとして今後検討する。

ローカル路線を活用した地域の活性化

提案 例えば、列車内から撮影(さつえい)した沿線風景の動画配信など、沿線(えんせん)住民以外の人にもローカル線を利用してもらえるようなアイデアを募集(ほしゅう)してはどうか。

答弁 HP等を通じて募集したアイデアを基に、里山の風景など庄原市の魅力を車体にデザインした列車を運行している。引き続き、ニーズをふまえた旅行商品の開発やローカル線の魅力発信のためのアイデアを広く募集することを関係機関に働きかけていく。



くらし・安心グループ

呉市立両城中学校	阿部 弘佳 議員
英数学館小学校	水ノ上 怜奈 議員
呉市立横路小学校	宮崎 理仁 議員
広島市立天満小学校	石田 望笑 議員
尾道市立尾道みなと中学校	
	吉岡 亜未 議員
広島市立袋町小学校	今岡 葵馨 議員
呉市立長迫小学校	山田 弥栄子 議員

美術館の出張サービス

提案 例えば、県内各地への美術館の出張サービスを行ってはどうか。他にも、子供の特別展の入館料が無料になる「子供デー」などを設けて、遠方からでも美術館に来てもらえるような支援をしてはどうか。

答弁 小学校等で美術作品などの見所を説明する出前講座(しゆざ)を年10回程度開催している。県立美術館のHPでは、バーチャルギャラリーを開設するなど、デジタル技術を活用した美術館の魅力発信に力を入れている。また、アート作品の制作体験イベントやクイズ・ゲームを組み合わせた探検(たんけん)ツアーなど、ふだん体験できない楽しい企画を特別展の際に実施している。

医療(いりょう)格差をなくすための取組

提案 中山間地域を中心に、テクノロジーを活用した遠隔(えんかく)医療などにもっと力を入れてはどうか。また、医師の少ない地域での勤務を促(うなが)すため、医師の労働環境の改善(かいぜん)などを行ってはどうか。

答弁 県内の無医地区に対しては、各地域の病院により巡回(じゆんかい)診療などが行われ、県はその活動の支援やオンライン診療を導入する医療機関の支援もしている。また、働き方改革(かいかく)の相談窓口(まどぐち)の開設や、中山間地域の医師の確保を目的とした医学生への奨学金(しょうがくきん)の支援なども行っている。

みんなが安心して笑顔でくらせるあたたかい広島県

提案 子供の居場所を作るため、新たなスペースを確保してはどうか。また、今の居場所をより多く利用してもらえるよう取り組んではどうか。

地域住民のつながりを強化するための取組を行ってはどうか。

答弁 放課後児童クラブのある市町やレクリエーション活動等を行う団体への支援などを行っている。県内各地の居場所をより多く利用してもらえるよう広く発信するとともに、子供の居場所が広まるための仕組みづくり等を検討する。

地域のつながりや助け合いを推進する上での課題・対応策を検討するモデル事業を福山市で実施している。



将来の学び・多様性グループ

安芸太田町立加計小学校	久保 陽奈子 議員
広島市立伴小学校	尾崎 隼亮 議員
広島市立江波中学校	宇高 寧々 議員
廿日市市立大野西小学校	元矢 侑希 議員
ノートルダム清心中学校	新田 優菜 議員
福山市立常石ともに学園	石井 優羽 議員
広島市立尾長小学校	岡田 咲良 議員
広島市立みどり坂小学校	石中 杏奈 議員

子供達が将来(しょうらい)の夢を描(えが)ける広島県

提案 小・中学生の職業体験などの機会をより増やしたり、保護者や地域の方に、自分の仕事内容やその仕事を選んだ理由について授業で話してもらってはどうか。また、この職業はこれくらいの給料だということも知りたい。

答弁 小・中学校で校外の大人の方の話聞く機会を設けたりする機会がより充実(じゆうじつ)するよう、協力してもらえる会社や、各学校のすぐれた取組事例を調べられる学校向けのサイトを今年中に開設予定である。

また、学校や地域の図書館に、その職業につく方法や給料について書かれた本があるため、調べてみてほしい。

だれにでも公平で多様な学びの機会がある広島県

提案 学校で無償(むじやう)のオンライン教育を拡大してはどうか。

答弁 県が設置するSCHOOL“S”はオンラインでも利用でき、市町が設置するスペシャルサポートルームは授業をオンライン配信する取組を進めている。今後は、こうした施設の整備を進めるとともに、オンラインの学習機会の充実を図る。

LGBTQ+の方がくらしやすい広島県

提案 学校や保護者会、職場などにLGBTQ+の方に来てもらい、ふだんからかかえる違和感(いわかん)や生きづらさ等聞く機会をもっと作ればいいのか。

県がLGBTQ+に関する正しい情報を、アニメや人気インフルエンサーなどを起用して作り、発信してはどうか。

答弁 LGBTQ+の当事者の方に、日常生活での生きづらさなどについてイベントで話してもらったり、企業の人事担当者等を対象とした研修会、中学校や高校の授業など、性の多様性について理解を深める機会を設けている。

また、LGBTQ+について正しく理解していただくため、啓発冊子(さっし)を作成し、活用してもらうほか、知名度のあるゲストによるトークショーの実施や、ドラマ仕立てのDVDの貸し出しを行っている。



防災・農業グループ

広島市立天満小学校	友成 仁寿 議員
広島市立みどり坂小学校	石中 千晴 議員
広島市立古市小学校	平野 直 議員
三次市立十日市小学校	備後 七美 議員
広島市立広島中等教育学校	
	久野 柚瑠 議員
広島市立みどり坂小学校	谷口 純怜 議員
近畿大学附属広島中学校東広島校	立花 結乃 議員
広島市立飯室小学校	向井 玲奈 議員

だれもが安心して避難(ひなん)できる環境づくり

提案 避難所のトイレやバリアフリーをより充実させるとともに、バス会社等に避難輸送の協力を求めたり、災害対応車両を派遣(はけん)してはどうか。

様々な事情を持つ人に配慮(はいりよ)した食べ物、紙おむつやミルクなどの物資を備蓄(びちく)し、避難所での不足に対応したり、充電設備や仮設貯水槽(ちよすいそう)など、ライフラインが停止した場合の備えを準備してはどうか。

答弁 トイレの設置場所・数量、要配慮者スペースの設置などの基準を示し、市町と連携(れんけい)し、避難所の環境整備等に取り組んでいる。また、バス協会等と連携し、被災者の移動手段(しゆだん)の確保を図っている。また、国で被災自治体のニーズに応じて迅速に提供(ていきよう)される「災害対応車両登録制度」が開始された。

市町と連携し、災害時に必要な物資の備蓄に取り組んでおり、要配慮者や食物アレルギー患者(かんじゃ)等に配慮した食料、乳幼児(にゅうようじ)用おむつやミルク等について備蓄することになっている。また、ライフライン停止時には、非常用発電機の提供や断水時の飲料水の供給を図ることになっている。

広島県の農業の将来

提案 農家の赤字を防ぐため、耕作地の面積に応じて給付金を配ったり、休耕田などを活用し、新たに県の特産野菜をつくる人を支援してはどうか。

地元の農産物やその調理法をPRするため、小・中学生も身近な場所で参加できるイベントを開催してはどうか。

答弁 効率的に生産できるスマート技術の導入などを支援したり、休耕田などを耕作しやすい農地に改良する事業を実施している。また、災害などで収入が減少するリスクを考慮し、農家の方に対し売上の一部を補償(ほしょう)する制度への加入を促している。

学校給食では、県産の農産物を積極的に活用し、その特徴(とくちやう)を紹介している。また、小・中学校で実施される出前講座では、農業団体職員による県産野菜を使ったカレーの調理実習や、ホテル料理人による県産トマトなどを使った料理の授業など、県産の農産物のおいしさを体験してもらう機会を提供している。